

答

財政調整基金は、年度別の財源調整に加え、急激な歳入の減少や、突発的な歳出の増加に備えて積み立てている。本市は、過去の災害時における取り崩し額などを参考に、将来の大規模災害に対する備え、年々増加する扶助費や、今後進んでいく公共施設の老朽化対策に係る費用なども考慮し、目標額を50億円程度としており、今後も同程度の積立金は確保したい。

地域の拠点病院

周桑病院を守る取組は？

問

令和元年9月に厚生労働省が発表した再編・統合の議論が必要な公立病院に、周桑病院が含まれていた。周桑病院は、管内の中核病院であり、市民も存続を願っているが、今後、どのように取り組もうと考えているのか。

答

厚生労働省が令和元年12月に松山市で開催した県内行政・医療関係者との意見交換会において、公表基準が地域実情を反映していない点などを訴えた。また、令



地域医療の要である周桑病院

和2年2月に開催した愛媛県新居浜・西条構想区域地域医療構想調整会議においても、周桑病院が拠点病院として救急医療病院の中でも一刻を争う心肺停止などの患者の救命措置を最も多く行っている点などを説明し、必要不可欠な存在であることを訴えた。
なお、令和2年4月からは、指定管理者である医療法人専心会との指定管理期間を10年間から20年間に延長している。これにより、中長期的な視野の下、より安定的な病院運営を行うことで、今後も周桑病院による地域の実情に応じた医療サービスの提供体制をしつかりと守っていききたい。

**西条みらい
クラブ**

御 莊 秀 樹 議員



- (代表質問)
- 1 施政方針について
 - 2 施政方針の実現に向けた予算編成について

いち早く受け止めよう！

人口減少・少子高齢化

問

今回の施政方針では、市民一人一人が自分ごととして人口減少・少子高齢化の問題を受け止めることができるかどうか、持続可能な自治体経営を実現する上で極めて重要と明記している。こうした中、市民一人一人にこの最重要課題を受け止めていただくためには、どのようなことがポイントになると考えているのか。

答

まちづくり市民アンケートでは、多くの市民が本市の未来に不安を感じており、最大の不安要因は人口減少であった。できる限り早い段階から市民一人一人がこの危機を自分ごととして受け止めることが、持続可能な自治体経営への大きな第一歩になると考えている。

真 鍋 頭 伸 議員



- (一般質問)
- 1 救急医療について
 - 2 ごみ減量対策について

**近隣他市と連携した
救急医療体制を！**

問

救急当番病院の案内を新居浜・西条圏域に改める考えはないのか。

答

現段階では新居浜・西条圏域の情報に改める

ことは難しいが、医師会など関係機関と圏域内の医療連携について、意見交換や協議を進めたい。

佐 々 木 充 議員



- (一般質問)
- 1 若者政策について
 - 2 情報通信ネットワークの整備について

市政に若者世代の声を！

問

市政への参画を促すため若者世代に対しどのような取組を行っているのか。

答

若者世代の声を市政に反映すべく、平成29年度から若者会議を開催している。今後は、若者世代への情報発信手段としてSNSなどを有効活用し、更なる情報発信に努め、若者の関心を高めていきたい。